



現場に置くだけ。 行かずに、直せる。

現場とオフィスをセキュアなVPNでつなぐ、装置込みのゲートウェイサービス



株式会社テクノスフィア

〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目7-3 エフベースミュゼオ201

TEL 06-4805-8282 / <https://technosphere.co.jp/genba-gate>

THE CHALLENGE

遠くの現場ほど、行くのに時間もお金もかかる

機器そのものは正常でも、設定をひとつ確認するために半日かけて現地へ向かう。現場を遠隔から見られない理由は、たいてい次の3つに集約されます。

障害のたびに現地へ駆けつけている

出張のたびに費用と人員がやり、復旧までの時間も長くなります。原因が単純な設定ミスでも、行ってみるまで分かりません。

現場に固定回線がない

光回線を引けない場所、引くには費用と工期が見合わない場所があります。モバイルルーターしか使えない現場も少なくありません。

遠隔化はセキュリティが不安

外部からの入口を開ける、映像をクラウドに預ける。どちらも社内の承認を通しにくく、話が止まってしまう。

HOW IT WORKS

置く。つながる。あとはオフィスから。

現地で必要な作業は、箱を開けて電源とLANをつなぐことです。設定は出荷前に当社で済ませてお届けします。

1

現地に1台置く

設定済みの状態で発送します。現地では電源をつなぎ、構内LANとモバイルルーターにLANケーブルを挿すだけです。

2

オフィスへ自動でつながる

電源が入るとゲートウェイ側から、あらかじめ指定したオフィスへ接続を張ります。外部からの入口を作らないので、現地のルーター設定を緩める必要はありません。

3

オフィスから直接アクセス

オフィスのパソコンから現地のカメラやレコーダーへ、その場ににいるのと同じようにアクセスできます。

現地（お客様の施設）

IPカメラ・レコーダー

GENBA Gate

モバイルルーター

ゲートウェイ側から発信
暗号化されたVPNトンネル

オフィス（お客様、または当社）

VPNルーター（固定IP）

オフィスのパソコン

現場にも、情報システム部門にも説明できる仕組み

遠隔化の話が止まるのは、たいてい安全性の説明ができないときです。「どこと、どちら向きに通信するか」を単純にすることで、その説明を成り立たせています。

1 通信相手は指定した1拠点だけ

つながる先は、あらかじめ指定したオフィス1か所だけです。外部のクラウドサービスを経由しないため、映像や機器の情報が第三者の環境を通ることがありません。

3 既存機器の設定変更は不要

ゲートウェイが送信元を自分のIPに変換して構内LANへ転送します。カメラやレコーダーからは同じLAN内の通信に見えるため、既存機器側はそのままです。

5 現地はパソコンなしで設定完結

モニタとキーボードをつなぐと設定画面が立ち上がります。マウスも作業用パソコンも持ち込まずに現地作業を終えられます。

2 着信ポートの開放はゼロ

接続は必ずゲートウェイ側から発信します。現地のルーターに外部からの入口を作らないため、ポート開放やDMZの設定は不要です。

4 モバイル回線で成立

グローバルIPが割り当てられない回線でも接続できます。固定回線の敷設を待たずに始められ、ルーターの機種や回線事業者も選びません。

6 装置も設定もまとめて

機器の調達から初期設定、オフィス側の接続設定の支援までをまとめて提供します。当社による遠隔保守や稼働監視もご依頼いただけます。

WHAT'S INCLUDED

装置も設定も、まとめてお任せいただけます

項目	内容	ご用意
ゲートウェイ装置	本体・電源アダプタ・USB-LANアダプタ。設定済みの状態で発送します。	標準
初期設定	現場の構内LANに合わせた設定と、出荷前の疎通確認を当社で行います。	標準
オフィス側の接続設定	VPNを受け入れる側のルーター設定を当社が支援します。当社事務所に接続する構成であれば、当社側の作業だけで完了します。	標準
遠隔保守	点検・設定変更・障害の切り分けを当社が代行します。ご自身のオフィスから運用される場合は不要です。	オプション
稼働監視	接続断の検知と復旧対応。復旧しない場合は当社からご連絡します。	オプション
通信回線	モバイルルーターなど。既にお使いの回線があればそのまま利用できます。	お客様手配
設置場所と電源	屋内の棚などにゲートウェイを置くスペースとコンセント。	お客様手配

導入前に、実際の回線で確かめます

モバイル回線は事業者や契約によって挙動が変わります。「つながるはず」で進めず、次の項目をお客様の現地回線で確認してから導入します。

- ✓ UDP 500 / 4500 が現地の回線を通ること
- ✓ VPNトンネルが確立すること
- ✓ 通信のない時間帯もNATテーブルが維持されること（keepalive 30秒）
- ✓ 映像の視聴に足る実効スループットが出ること
- ✓ 24時間の連続稼働と、回線が切れたあとの自動再接続
- ✓ 設置場所と電源、ゲートウェイから構内LANへの配線

UDPが通らない特殊な回線の場合は、別の方式に切り替えて対応します。

お客様のオフィスに接続する構成では、オフィス側に固定のグローバルIPと、VPNを終端できるルーターが必要です。

FAQ

よくいただくご質問

カメラの設定変更は必要ですか	不要です。ゲートウェイが送信元を変換するため、既存機器はそのまま使えます。メーカー独自の管理ソフトもそのまま通ります。
接続先はどこですか	お客様のオフィスに接続できます。保守そのものを当社にお任せいただく場合は、当社事務所を接続先にすることもできます。
映像は保存されますか	ゲートウェイやクラウドに映像を保存することはありません。現地のレコーダーの映像を必要なときに見に行くだけです。
回線が切れたら	自動で再接続します。稼働監視をご依頼の場合は、復旧しない状態を当社側で検知してご連絡します。
1拠点から導入できますか	できます。1拠点で試してから広げる進め方もご相談いただけます。
料金は	台数・拠点数・接続先の構成・保守の範囲によって変わります。構成をうかがったうえで見積りします。

その他のご質問は technosphere.co.jp/genba-gate-faq をご覧ください。

導入のご相談・お見積り

株式会社テクノスフィア

〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目7-3 エフベースミュゼオ201

06-4805-8282

お問い合わせフォーム：technosphere.co.jp/contact

